



あいさん

あいかわ 議会だより

第152号

平成29年2月15日発行

責任者 議会議長 小島 総一郎
年4回発行・本号14ページ



「第5次愛川町総合計画基本構想の一部改定及び後期基本計画」

特別委員会を設置 全会一致で可決

P12

一般質問 13人の議員が登壇 町政を問う

P4

愛川町放課後児童クラブ関連など5件の条例を可決

P2

※町議会では議会だよりに使用する写真を募集しています。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

〈第4回12月定例会〉

○発行/愛川町議会 編集/議会だより編集委員会 〒243-0392 神奈川県愛甲郡愛川町角田251-1 046-285-6927(直通) 046-285-2111(代表)

議会メールアドレス gikai@town.aikawa.kanagawa.jp 町HPアドレス http://www.town.aikawa.kanagawa.jp/

平成28年第4回愛川町議会「12月定例会」は、12月2日から15日まで会期14日間（本会議開催日4日間）にわたり開催され、条例の一部改正、補正予算など、11件の町長提出議案について審議しました。4名の議員が個人総括質疑・討論を行ったうえで採決し、全議案を可決するとともに、陳情3件の審議を行いました。

第5次愛川町総合計画後期基本計画を可決

◎第5次愛川町総合計画基本構想の一部改定及び後期基本計画の策定

（賛成全員）
協働のまちづくりをすすめていくための指針とする「第5次愛川町総合計画」の後期基本計画が平成29年度からスタートするため、「第5次愛川町総合計画後期基本計画特別委員会」を設置し、意見・提言を行いながら町と協働して策定したものです。

※特別委員会の詳細については、12ページをご覧ください。

条例関係

◎愛川町職員の給与に関する条例の一部改正

（賛成全員）

人事院勧告及び国家公務員の給与改定の内容に準拠し、一般職の職員の給与について、所要の改正を行う一部改正条例を可決したものです。

施行期日は、公布の日

◎愛川町議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例及び愛川町長等常勤の特別職の給与に関する条例の一部改正

（賛成12人、反対3人）

一般職の職員の給与改定に準拠し、町議会議員



平成28年 第4回定例会日程

月	日	曜	会議名	主な内容
12	2	金	本会議	町長提出議案の説明陳情3件の所管常任委員会への付託 第5次愛川町総合計画後期基本計画特別委員会の設置・付託
			総務建設常任委員会	所管事務調査
	6	火	本会議	一般質問（6人）
	7	水	本会議	一般質問（7人）
	9	金	教育民生常任委員会	付託案件の審査 所管事務調査
12	12	月	第5次愛川町総合計画後期基本計画特別委員会	付託案件の審査
15	木	本会議	町長提出議案の総括質疑・討論・採決 特別委員会・常任委員会委員長報告 ・質疑・討論・採決	

及び常勤特別職（町長、副町長及び教育長）の期末手当の支給割合について所要の改正を行う一部改正条例を可決したものです。

◎愛川町国民健康保険税条例の一部改正

（賛成全員）

「地方税法」等の改正に伴い国民健康保険税の所得割額の算定に課税の特例等を定めるため、所要の改正を行う一部改正条例を可決したものです。

施行期日は、平成29年1月1日

◎愛川町放課後児童クラブ育成料等徴収条例の一部改正

（賛成全員）

「児童福祉法」の一部改正により、放課後児童健全育成事業の対象児童が「小学校に就学している児童」に改正されたことに伴い、本町においても放課後の遊びや生活の

補正予算

支援を通じた児童の健全育成をより一層充実させるため、所要の改正を行う一部改正条例を可決したものです。

施行期日は、平成29年4月1日

◎平成28年度一般会計補正予算（第2号）

（賛成12人、反対3人）

歳入歳出のそれぞれに1億6千43万6千円を追加し、一般会計の総額を12億5千471万2千円としたものです。

◎平成28年度下水道事業特別会計補正予算（第1号）

◎平成28年度水道事業会計補正予算（第1号）

（以上、賛成全員）



件名	陳情者	付託先	審査結果
平成29年度における「重度障害者医療費助成制度」継続についての陳情	横浜市神奈川区台町1-8 ウェイサイドビル504号 特定非営利活動法人 神奈川県腎友会 会長 前田 好夫	-	机上配付
安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交代制労働の改善について、国への意見書提出を求める陳情	横浜市中区桜木町3-9 横浜平和と労働会館3階 神奈川県医療労働組合連合会 執行委員長 古岡 孝広	教育民生	趣旨了承
介護従事者の勤務環境改善及び処遇改善の実現について国への意見書提出を求める陳情	横浜市中区桜木町3-9 横浜平和と労働会館3階 神奈川県医療労働組合連合会 執行委員長 古岡 孝広	教育民生	趣旨了承
人間らしい生活の保障を求める意見書の採択を求める陳情	川崎市川崎区日進町34-30 神奈川県生活と健康を守る会連合会 会長 市木 眞二	教育民生	不採択
「若者も高齢者も安心できる年金制度の実現を求める意見書」の提出を求める陳情	横浜市中区不老町2-8 不二ビル2F 全日本年金者組合神奈川県本部 委員長 土志田 公佳	-	机上配付
「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の提出を求める陳情	横浜市中区桜木町3-9 横浜平和と労働会館6階 神奈川県労働組合総連合 議長 福田 裕行	-	机上配付

陳情のゆくえ

会派 議決一覧表 (平成28年第4回定例会)

※議長は表決には加わりません。 各会派賛否 ○…賛成、●…反対

議案番号	議案の件名	愛政クラブ	公明党	みらい絆	共産党	新風あいかわ	議決結果
		小倉議員 馬場議員 山中議員 熊坂弘久議員	井出議員 佐藤りえ議員 岸上議員	熊坂崇徳議員 小島議員 木下議員	小林議員 井上議員 鈴木議員	渡辺議員 佐藤茂議員 阿部議員	
町長提出第83号	愛川町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	可決
町長提出第84号	愛川町議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例及び愛川町長等常勤の特別職の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	●	○	可決
町長提出第85号	愛川町税条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	可決
町長提出第86号	愛川町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	可決
町長提出第87号	愛川町放課後児童クラブ育成料等徴収条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	可決
町長提出第88号	平成28年度愛川町一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	●	○	可決
町長提出第89号	平成28年度愛川町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	可決
町長提出第90号	平成28年度愛川町介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	可決
町長提出第91号	平成28年度愛川町下水道事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	可決
町長提出第92号	平成28年度愛川町水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	可決
町長提出第93号	第5次愛川町総合計画基本構想の一部改定及び後期基本計画の策定について	○	○	○	○	○	可決
陳情第12号	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交代制労働の改善について、国への意見書提出を求める陳情	○	● (不採択を主張)	○	● (採択を主張)	○	趣旨了承
陳情第13号	介護従事者の勤務環境改善及び処遇改善の実現について国への意見書提出を求める陳情	○	● (不採択を主張)	○	● (採択を主張)	○	趣旨了承
陳情第14号	人間らしい生活の保障を求める意見書の採択を求める陳情	●	●	●	○	●	不採択

こいは どぶなりの

一般質問



幼児教育の意義 認定こども園へ

山中 正樹議員

問 教育長の幼児教育の意義に関する考えと、町内幼稚園の認定こども園への移行の動向について伺います。

30年までに移行 人格形成の基礎

教育長 幼児期の教育は、人格形成の基礎を培う重要なものです。身近な環境を通して、安定した気持ちで遊びや生活について学ばせることが、大切であると考えます。
平成30年までに、幼稚園型認定こども園に移行する園が一つあります。

内部統制の現状 行政責任の認識

問 近代民主主義では、議会が行政を統制するのが原則です。しかし、世界的にも行政裁量が増大し、内部統制も必要とされています。本町の内部統制と行政責任のあり方について伺います。

制度的人的に行う 公平透明性の確保

町長 行政機関・職員は、住民福祉の向上を実現する行政責任を負っています。時には住民の権利を制限し、サービスの取捨選択を判断しなければならず、公平・透明性を確保する為の仕組みが必要です。これを行政統制と呼びます。
行政活動が適切に行われる為の内部統制は重要と考えます。規則等の整備による制度的統制及び職員研修などの人的な内部統制を行い、行政運営に当たっています。



ドラマ等のロケ 誘致件数と効果

小倉 英嗣議員

問 テレビドラマ等のロケにより、町の知名度があがることや、経済効果が期待できることから、フィルムコミッション事業のロケ件数と経済効果について伺います。

5年で67件の実績 施設使用料の増加

町長 平成17年度に事業化し、過去5年間の実績は67件です。アイドルグループ乃木坂46主演の「初森ベーマーズ」のロケが田代運動公園で行われたり、あいかわ公園で撮影された「マザーゲーム」では、放送翌月の入場者

数が6千人増加しました。ど、直接的な経済効果も町有施設の使用料増加なでています。



あいかわ公園での撮影であいちゃんも出演

加速化する温暖化の認識

問 地球温暖化防止対策を16年前から要請し、町では公共施設での太陽光発電や、公用車のEV化等に積極的に取り組んでいます。加速化する温暖化をどのように認識されているか伺います。

催されたCOP21では、全ての国が参加する「パリ協定」が同意され、11月に発行されました。今世紀末の気温を産業革命以降と比較して2℃未満に抑える目標が示されたところです。

温室効果ガス 削減目標改定

町長 平成27年12月に開
町では、公共施設から出る温室効果ガスの削減目標を定めた「あいかわエコアクションプラン」の改定を進めています。

教育長 町内産の有機農産物の導入は課題も多く、難しい面もあります。生産者等の協力を得ながら、地産地消の取り組みが進むよう研究していききたいと考えています。

なお、町内産米の「愛ちゃん」については、来年度から使用できるように、協議を進めています。

導入は課題山積 地産地消の研究



無農薬野菜の使用は

問 学校給食に地元の有機・無農薬・低農薬の米や野菜等の食材を提供する考えについて伺います。

学校給食の食材 地元の野菜提供



小林 敬子議員

町長 我が国の申告納税制度については、昭和22年に創設され、当時と比べて家族関係が大きく変わり、納税意識も変化し

税法見直し検討 国の動向を注視

問 所得税法第56条について、所得申告の仕方によって不利な扱いがあることに對する、町の考えについて伺います。

所得税法第56条に対する考え

の方向性が示されています。今後とも引き続き国の動向を注視していききたいと考えています。

てきています。第63回国連女性差別撤廃委員会において、政府は家族経営における女性の労働を認めるよう、所得税法の見直しを検討することの勧告を受け、国において、そのあり方の検討を行う必要がある旨の方向性が示されています。

町長 手数料・使用料の町民皆さんの負担の部分については、こうした社会情勢の中、しっかりと慎重に見極めて、取り組んでいきたいと考えています。

社会情勢見極め 慎重に取り組む

問 手数料・使用料の公共料金の引き上げについては、現下の町民の暮らし向きを考えた場合に、据え置く配慮が必要と考えますが、町長の考えを伺います。

使用料等の料金 据置く配慮必要



井上 博明議員

町長 構想案が完成次第、まちづくり協議会など、関係団体への説明の場を設け、意見等を聞

構想案の意見伺う 事業参入への打診

問 3千500万円の国の交付金を使い、新たな観光・産業拠点づくり案が平成29年3月までに完成します。そこで、今後の構想づくりを含めた取り組みについて伺います。

観光産業拠点づくりの今後

いていきたいと考えています。

また、半原水源地跡地について、横須賀市と協議をしながら、施設の規模、運営形態などを土地利用者へ示し、事業参入への打診や意向の確認をしていきたいと考えています。

へその他の質問事項① 介護予防へ、住民手づくり福祉のモデル事業の取り組みについて②台風9号による町道路肩の崩落箇所の早期復旧について



半原水源地跡地の利活用は



案内の導入 施設の音サイン

渡辺 基議員

問 音によるバリアフリーである「音サイン」を公共施設に導入する考えについて伺います。

視覚障がい者 ニーズを把握

町長 まず視覚障がい者のニーズを把握していきたいと考えています。また、ソフト面においては、職員による来庁者への積極的な声かけなど、身近な場面での配慮や対応などに取り組み、視覚障がい者への支援、福祉のまちづくりを推進していきたいと考えています。

春日台センター跡地の活用

問 近年、春日台の中心地が空洞化してきています。

そこで、春日台センター跡地を、町として活用する考えについて伺います。

建物を含めた跡地活用する考えなし

町長 町では、「町土地

利用調整委員会」において、各課からの意見をもとに協議を行いました。

その結果、春日台センター跡地周辺には、春日台児童館・春日台会館といった集会所や公園も整備されていることから、「建物を含めた跡地を、公共施設として活用する考えはない」という結論に至ったものです。



閉鎖された春日台センター



キエー口販売額 1,000円程度

馬場 司議員

問 愛川キエー口の住民負担額を、1,000円程度で販売できないか伺います。

高い補助率を設定 財政判断し厳しい

環境経済部長 負担額が1,000円程度の販売価格を実現するには、残りの額全てを補助金でまかなうということになります。町他の補助制度と比べ、これほど高い補助率を設定するのは非常に難しく、町の財政状況から判断して、厳しいものと考えています。



生ゴミの減量化へ効果が期待される愛川キエー口

全ての給水区域町水を供給

問 町内の給水エリア全域に、町営水道を供給することができないか伺います。

維持管理費が高額 長期的経営が困難

町長 町営水道区域を拡大する場合、県企業庁が公営企業として設備投資をしてきた配水池や水道管などの施設は、有償で

の買い取りが求められると考えられ、高額な圧送ポンプなど、新しい設備投資が必要となります。

また、維持管理経費も非常に高額となりますことから、費用対効果や長期的な経営視点に立った中で、難しいものと考えています。
へその他の質問事項①
消防行政について②安全
安心について

町長 平成34年度までの新たな児童遊園地の整備目標として、現状の56ヶ所から2ヶ所増設の58ヶ所を目指します。住宅の配置状況や既存児童遊園地の配置バランスなどを配慮し、居住者数の動向や地域のニーズなどを勘案し、財政状況を見極め、慎重に取り組んでいきたいと考えています。



大塚児童遊園地

2ヶ所増を目指す 財政状況見極める

問 児童遊園地を設置する今後の取り組みについて伺います。

児童遊園地設置 今後の取り組み



岸上 敦子議員

町長 厚木警察署と連携を図りながら、様々な機会をとらえて、運転免許証の自主返納制度の周知を図っていく必要があると考えています。「広報

制度の周知を図る 様々な媒体を活用

問 高齢者に対する運転免許証自主返納に對しての啓発や情報提供を行うべきと考えますが、町の考えについて伺います。

高齢者免許の自主返納啓発

あいかわ」に高齢者に関係する交通事故や、交通安全に関して家族と話し合うことの大切さなどをお知らせしました。今後も、広報紙をはじめ、ホームページやメール、ツイッターなど、様々な媒体を活用し「交通事故を起こさない」、「交通事故にあわない」ためにも、関係機関と連携を図りながら、交通事故の防止により一層努力していきたいと考えています。

教育長 一部の小学校では、昔の遊びを教えた。ただいた高齢者や、登下校の見守り隊の方々などと給食を一緒に食べて交流を深めています。高齢者のニーズも把握しながら、今後、より多くの学校で実施できるよう働きかけをしていきたいと考えています。

ニーズを把握し 実施へ働きかけ

問 高齢者との共食機会の提供状況と課題及び今後の取り組みについて伺います。

高齢者との共食機会 課題と取り組み



阿部 隆之議員

問 本町でもバリアフリーは実現してきましたが、どこでも誰でも自由に使いやすくという「ユニバーサルデザイン」の趣旨という点においては、まだハード・ソフト面ともに課題が多いと思います。

ユニバーサルデザイン



身近なユニバーサルデザイン

優しさを大切に ソフト面充実図る

町長 町は、「思いやり」や「優しさ」を大切にするソフト面の充実を図っていきます。また、施設を利用する方のさまざまな意見を聞きながら、利用者のニーズに合った取り組みを進めていきたいと考えています。



「未病センターあいかわ」 関係機関との連携

佐藤 りえ議員

問 「未病センターあいかわ」が健康プラザに開設されました。保健師・医療関係機関との連携について伺います。

測定結果を元に 受診を勧める

町長 保健師などとの相談において、医療機関の受診が必要であると判断される場合は、受診をお勧めしています。すでに定期的に医療機関を受診されている方には、主治医との相談の際、「健康度見える化手帳」の活用をアドバイスしています。

「避難準備情報」

発令に至った経緯と対応

問 8月22日に上陸した台風9号では、本町でも「避難準備情報」が発令されました。発令に至った経緯と対応について伺います。

災害対策本部設置 情報収集に努める

町長 本町では、横浜気象台より「大雨・洪水警報」が発表されたのを受けて、午前5時に災害対策本部を設置し、情報収集に努めました。午前11

時に土砂災害の恐れのある愛川地区を対象に「避難準備情報」を発令。その後、気象台から土砂災害警戒情報が町内全域に発表され、これを受けて12時30分には町内全域・全世帯を対象を拡大し発令したものです。発令に先立ち、避難所開設のため、町担当職員を町内の各避難所に派遣し、避難者の受け入れ態勢を整えるなど、万全を期した対応を図ったところで



健康度見える化手帳

横断歩道の新設 児童の安全確保

鈴木 信一議員

問 一本松交差点から中津老人福祉センター付近に、横断歩道を新設し、通学児童の安全を確保すべきと考えます。考えを伺います。

危険性を認識 関係機関に要請

教育長 交通量が多く危険であることは認識しています。横断歩道の必要性について、厚木警察署に引き続き粘り強く要望していきたいと考えています。

災害対策の今後の取組み

問 災害時における減災対策として防災知識を学び対応策を身に付けるためには、日頃の訓練と備えが重要です。今回の総合防災訓練中止を教訓とした今後の取り組みについて伺います。

練は、気象状況や安全面などを総合的に判断し、やむなく中止としました。防災関係機関が一堂に会して、合同で訓練することは、連携強化を図る貴重な機会にもなりますことから、来年度は、再度総合防災訓練を予定し、より実効性のあるものが高めていきたいと考えています。

総合防災訓練実施 実効性を高める

町長 今回の総合防災訓



中津小学校付近の道路

町長 地域の防犯パトロールを推進するために、各行政区に防犯ベストを貸与するなど地域の防犯対策に、必要な支援に努めてきたところです。

これからも、活発で効果的な活動ができるよう、できる限りの努力をしていきたいと考えています。

**ベスト貸与など
必要な支援努める**

**地域の防犯活動
助成制度の考え**



佐藤 茂議員

問 地域の防犯活動に対する助成金制度の創設などに対する考えについて伺います。



防犯キャンペーンの様子

遊休農地の現状と対策

問 農業委員会等に関する法律の改正により、新体制となりました。町内の農地を見ると、遊休農地や休耕田、荒廃地が見受けられます。現状と対策について伺います。

**全農地の10%
利活用を促進**

町長 平成28年8月10日より農業委員11名、農地

利用最適化推進委員4名の計15名による新体制でスタートを切ったところです。

遊休農地の面積は、合計43・8ヘクタールで、全農地の10%となっております。今後とも状況を把握したうえで、新規就農や経営規模拡大を目指す農業者に対し、各種補助金制度の周知に努め、利活用を促進していきたいと考えています。

**免許証自主返納
今後の外出支援**



木下 眞樹子議員

問 運転免許証を自主返納した高齢者は、買い物などの外出が困難になると想定されます。高齢者人口の増加の中で、今後の外出支援について伺います。

**バス割引券助成
実態分析対策検討**

町長 町では、路線バスの割引乗車券購入費の一部助成や、町内循環バスの運行などにより、高齢者の外出支援に努めています。免許証を自主返納された方を含め、全ての高齢者の外出時の課題把握



愛川ブランドをポスターでPR

握とニーズの分析を行ったうえで、本町の実態に
見合った対策を検討して
いきたいと考えています。

愛川ブランドPRと効果

問 シティプロモーションの一環として愛川ブランドの認定をし、1年が経過しました。そこで、これまでのPR活動状況と効果について伺います。

制作や、放送メディアで取り上げていただき、町内外へ情報発信しました。PR効果については、愛川ブランドの認知度に関するアンケートを実施したところ、約85%の方から「よく知っている」、「名前を聞いたことがある」との回答をいただき、ブランドの浸透度合いが深まりつつあるものと捉えています。

**町内外へ情報発信
認知度は約85%**

町長 愛川ブランド認定後、パンフレットなどの



熊坂 崇徳議員

小中学校トイレ切替え進捗状況

問 本町では、小中学校のトイレを和式から洋式へ随時切替えを行っています。
そこで、切替えの進捗状況について伺います。

洋式化率54・6%
全国平均を上回る

教育長 現在の小中学校全体の校舎内トイレの洋式化率は、54・6%となっております。
全国の公立小中学校の校舎内トイレは44・6%となっており、全国平均を上回っています。

今後の大雪への対策

問 平成26年2月に大雪に見舞われ日常生活に大変大きな影響がありました。
そこで、今後の大雪への対策について伺います。

新規除雪協定11社 県との連携再確認

町長 町では、前回の大雪を教訓として、平成26年度に除雪重機の充足や迅速な対応を図るため、新たに土木事業者11社及

び建設機械リース会社と除雪に係る契約と協定を結びました。また、土木業者以外で重機を所有している26名の方と除雪の協定を結び、さらに、町内の国道を管理する厚木土木事務所と双方の除雪対応について再確認し、大雪の際には県の管理する河川敷を雪の置き場として利用することを可能にするなど、調整を図ったところです。



平成26年2月の大雪

個人総括質疑

最終日の12月15日では、

条例、補正予算の議案に対し、渡辺基議員、山中

正樹議員、岸上敦子議員、小林敬子議員が質疑をしました。主な質疑を紹介

〈条例関係〉

愛川町職員の給与に関する条例の一部改正

・ 人事院勧告にかかる対象企業の規模・企業数等や調査の内容について
・ 勤勉手当を引き上げる理由について

愛川町議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例及び愛川町長等常勤の特別職の給与に関する条例の一部改正

・ 町長等常勤特別職の期末手当の年間引き上げ額と支給額、及び近隣市町村における改定状況について

愛川町税条例の一部改正
・ 軽自動車税免税措置と

の関連について

愛川町国民健康保険税条例の一部改正

・ 株式等の譲渡所得等の分離課税制度に関して、株式等を「一般株式等」と「上場株式等」に分けた理由について

愛川町放課後児童クラブ育成料等徴収条例の一部改正

・ 対象が小学校1年生から小学校3年生までだったものを、小学校6年生までに拡大したが、町内における小学校4年生から6年生の需要について

〈補正予算関係〉
地域型保育給付事業費増額

保育所運営児管外委託経費増額
・ 児童数が、当初見込みより増えているが、保育ニーズの動向について

経済対策臨時福祉給付金給付費
・ 詳細について

ライブ・録画中継

町議会では、町民参加を基本とする開かれた議会を実現するため、インターネットによる議会本会議のライブ中継、録画中継を行っています。
視聴にあたっては、「愛川町議会ホームページ」内の「愛川町議会インターネット中継」の項目をクリックして進んでください。

なお、録画中継の視聴可能期間は、ライブ中継終了後、概ね3日後から約3年間となります。

【ホームページアドレス】
<http://www.town.aikawa.kanagawa.jp/assembly>



子ども議会の様子(平成28年11月実施)

常任委員会行政視察

教育民生常任委員会

教育民生常任委員会では、平成28年10月19日から21日までの3日間、行政視察を実施しました。視察場所と視察内容は次のとおりです。

◎広島県呉市

「ジェネリック医薬品促進の取り組みについて」

●事業の概要

呉市では、医療費負担の軽減と国保財政の健全化を図るため、平成20年7月から、「ジェネリック医薬品促進通知サービス」を実施しています。呉市国保全体で約2億4千万円の削減効果があったと見込まれます。

●主な施策

全国的に見て呉市の一人あたりの医療費が高い状態（全国平均1.32倍）にあるため、その対応策となる国民健康保険事業の一環として、さまざまな事業を実施しています。平成26年度のジェネリック

ク医薬品促進通知サービスは、差額の大きい上位3千名に対し通知を送付し、80%の方がジェネリック医薬品に切り替えています。



呉市の議場を見学

◎広島県尾道市

「おのみちスローフードまちづくり事業について」

●事業の概要

尾道が誇る海と山からの恵みである食材と、独自の食文化及び生活様式を育み、次世代に伝え、個性的で魅力あるまちで

あり続けるために、「スローフードのまちづくり」として、多様な事業に取り組んでいます。

●主な施策

大きな柱の一つである「食を通じた教育の推進」では、学校給食に地元農水産物を導入し、地元の食材を使った歯にやさしいおやつを紹介する「歯っぴーフェスティバル」など、食の大切さ、食文化を伝え地元の食材を使用した、さまざまな食育事業を展開しています。



尾道市での視察

◎広島県福山市
①「第2次福山市健康増進計画(健康ふくやま21)について」

②「第2次福山市食育推進計画(元気な福の山)について」

●事業の概要

福山市では、健康づくりと食育をより効果的に進めていけるよう、「健康増進計画」と「食育推進計画」を一体的に策定し、「市民自らが健康づくりに取り組み、だれもが健やかでいきいきと暮らせるまち」をめざして、事業に取り組んでいます。

●主な施策

「食生活」・「運動」・「休養」・「こころ」・「喫煙」・「飲酒」・「歯、口腔」という6つの分野について3つのライフステージ（乳幼児期から青年期、成人期、高齢期）ごとに目標を設定し、健康づくりを推進していきます。

この計画を推進するため、健康づくりや食育推進に関わる33団体からな

る「ふくやま健康・食育市民会議（フクイク21）」を立ち上げ、地域社会全体で個人の健康を支えていく取り組みを展開しています。



福山市での視察

※総務建設常任委員会の行政視察は、台風18号接近の影響を考慮し、延期となっていました。平成29年1月24日と25日の2日間で実施しました。視察先は愛知県新城市、静岡県島田市です。

視察の詳細については、次号に掲載する予定です。

第5次愛川町総合計画後期基本計画特別委員会

町では協働のまちづくりをすすめていくための指針となる「第5次愛川町総合計画」を、平成23年度から34年度までの12年間を計画期間として策定しています。

平成28年度をもって前期基本計画が満了するため、平成29年度から34年度までの6年間の後期基本計画を策定するにあたり、議会では平成28年6

第5次愛川町総合計画後期基本計画議会検討会

月	日	内容
6	14	今後の日程等について
	30	第5次愛川町総合計画後期基本計画素案 提示・説明
7	6	総説・基本構想・後期基本計画の検討
	14	第1・2部の検討
	21	第3・4部の検討
8	27	第5・6部の検討
	3	最終確認
	5	小野澤町長へ提言書・意見書を提出 (129項目)
9	29	提出した提言書・意見書に基づく基本計画案の提示・説明
	28	基本計画案に対する質疑 (33項目)・答弁

第5次愛川町総合計画後期基本計画特別委員会

月	日	内容
12	2	議案「第5次愛川町総合計画後期基本計画基本構想の一部改定及び後期基本計画の策定について」の説明、第5次愛川町総合計画後期基本計画特別委員会の設置
	12	特別委員会の開催
	15	本会議での特別委員会委員長報告及び採決



12月12日に開催した特別委員会の様子

月に「第5次愛川町総合計画後期基本計画議会検討会」を設置し、議員全員で総合計画後期基本計画(案)について検討を行い、8月5日に全129項目の提言書・意見書を小野澤町長へ提出しました。

その後、提言書・意見書に基づく基本計画案の提示・説明に対し、9月に質疑を行い、一部修正

第5次愛川町総合計画後期基本計画特別委員会委員

委員長	馬場 司
副委員長	渡辺 基
委員	小倉 英嗣
委員	佐藤 りえ
委員	熊坂 崇徳
委員	井上 博明

※ほかに、正副議長がオブザーバーとして参加

常任委員会1月所管事務調査

地方分権の進展に伴い、行政が行う事務が専門かつ複雑化しているなか、各常任委員会が所管する事務事業について調査するため、1月27日(金)に次のとおり所管事務調査を実施しました。

総務建設常任委員会

消防半原分署(高規格救急車)、南山(町有林管理委託)などの現地調査を行うとともに、法定健康診断(ストレスチェック)、住民活動災害保障保険経費(ふれあい保険)の説明を受けました。

教育民生常任委員会

宮本児童館(建設工事)、高峰小学校(エアコン賃貸借)、健康プラザ(健康増進事業等)などの現地調査を行うとともに、子育て応援赤ちゃん育児用品購入費助成、若者たちの音楽祭の説明を受けました。



教育民生常任委員会で宮本児童館を調査



総務建設常任委員会で災害時の避難場所になる高峰小学校を調査

議会だより・議会に関する 傍聴者アンケートの結果

平成28年に開催した4回の議会定例会を傍聴された方々に「議会だより」についてアンケートをお願いし、延べ55人の方から貴重なご意見をいただきました。

- ⑤ 総括質疑 10人
- ⑥ 意見書・要望書の提出 12人
- ⑦ 政務活動費収支 6人
- ⑧ 討論 5人
- ⑨ 傍聴者アンケートの結果 4人
- ⑩ 次回定例会の日程 6人
- ⑪ 町民の声／議会クイズ 13人
- ⑫ インターネット中継の案内 1人

また、前号から開始した議会クイズにおいても、応募に併せてたくさんのご意見をいただきました。

- ① 読みやすい 13人
- ② 普通 34人
- ③ 読みづらい 0人
- ④ 未記入 8人

今後、さらに町民の方に親しまれる広報として充実を図っていきます。

- 議会だよりを読んだことがありませんか
- ① 毎回読んでいる 40人
- ② 時々読んでいる 7人
- ③ 読まない 3人
- ④ 未記入 5人

■ 主にどの記事を読んでいますか

- ① 可決議案の内容 27人
- ② 一般質問 41人
- ③ 会派代表質問・質疑 26人
- ④ 会派議決一覧表 13人

※複数回答あり

- 取り上げてほしい記事や企画、その他の意見
- ・ 町政のニュースや、今までの町政での出来事など、トリビア的なコーナーがあれば、読むのが楽しみになると思います。
- ・ 議会だよりでも、最新の住民人口を記入してほしいです。

・ 飲食店など、町内で頑張っている人や店などを取材してほしいです。

・ 各議員の紹介記事について。

・ もっと早く発行してほしいです。

・ 表紙の写真の募集は大変よい試みであると思います。

議員研修会

■ 神奈川県町村議会議員研修会

平成28年11月18日(金)に大井町生涯学習センターにおいて、神奈川県町村議会議員研修会による町村議会議員研修会が次のとおり開催されました。

講師

(株)TMOオフィス代表取締役 PPRプロデューサー

殿村 美樹 氏

研修テーマ

「地方の魅力発掘とPR戦略」「埋もれた宝」を見つけよう」



大井町生涯学習センターでの研修

■ 議員研修会

平成29年2月2日(木)

に愛川町役場において、議員研修会を次のとおり開催しました。

講師

(株)会議録センター

矢嶋 洋美 氏

研修テーマ

「議会だより研修会」



議会だよりの研修

■ 愛甲郡町村議会議員研修会

平成29年2月10日(金)

に、清川村保健福祉センターやまびこ館において、

議員研修会を次のとおり開催しました。

講師

首都大学東京大学院

社会科学研究所教授

大杉 寛 氏

研修テーマ

「人口減少を踏まえた自治体のあり方」

町民との意見交換会

町議会では、議会基本条例に基づき、「広く町民の声を聴く議会」「町民とともに歩む議会」「町民参加を基本とする開かれた議会」を目指し、昨年度に引き続き、町民と議会との意見交換会を次の日程で開催します。是非ご参加ください。

意見交換会のテーマは現在、議会運営委員会を中心に検討しています。

■ 日時及び場所

5月13日(土)

午後7時

文化会館(3階会議室)

ご覧ください
会議録

議会だよりは、紙面の都合により、発言の一部を掲載しています。

詳しくは下記の町公共施設に備え付けてある「会議録」をご覧ください。

なお、12月定例会の会議録は、3月中には備え付けができる予定です。

また、町議会のホームページで平成11年以降の会議録がご覧になれます。

次回定例会

次回、3月定例会は下表のとおりです。会議はいずれも午前9時から開会します。また、本定例会の運営を協議する議会運営委員会は、2月20日(月)に開催予定です。

日程が変更になる場合もありますので、詳細は議会事務局にお問い合わせください。町ホームページでもご覧になれます。

平成29年 第1回定例会日程 (予定)

月	日	曜	会議名
3	1	水	本会議 (施政方針・提出議案の説明)
	2	木	本会議 (一般質問)
	3	金	本会議 (一般質問)
	7	火	本会議 (個人総括質疑)
	8	水	本会議 (会派代表質問)
	9	木	総務建設常任委員会、教育民生常任委員会
	13	月	総務建設常任委員会
	15	水	教育民生常任委員会
	16	木	総務建設常任委員会
	17	金	教育民生常任委員会
	21	火	総務建設常任委員会
	24	金	本会議 (委員長報告・討論・採決)

施設設置会議録

- 役場町政情報コーナー
- 半原出張所
- 中津出張所
- 福祉センター
- 文化会館図書館
- 農村環境改善センター
- 半原公民館
- 中津公民館

議会だよりは、録音ボランティアグループ「かえでの会」のご協力により、視覚障害者に音声テープ化されています。ご希望の方は、社会福祉協議会へご連絡ください。(内線3792)

第1回
議会クイズの
答えと当選者

前号からはじまった議会クイズにたくさんのご応募、ありがとうございます。当選者は次のとおりです。

〔正解〕
問1・②5つ
問2・①3件
問3・③7人以上
〈当選者〉
肥土 崇 様
渡辺 博美 様

第2回 議会クイズ

- 問1 愛川町放課後児童クラブ育成料等徴収条例の一部が改正されました。今までは小学校3年生までが児童クラブへ通えましたが、条例の改正で何年生までとなったのでしょうか?
① 4年生 ② 5年生 ③ 6年生
- 問2 教育民生常任委員会でジェネリック医薬品促進の取り組みについて、広島県の何市へ視察したのでしょうか?
① 呉市 ② 尾道市 ③ 福山市
- 問3 第5次愛川町総合計画後期基本計画は平成29年度から平成何年度までの計画でしょうか?
① 33年度 ② 34年度 ③ 35年度

この議会だよりの中に答えがありますので、最初から最後までよく読んでみてください。正解者の中から抽選で2名の方に、商品券をお贈りします。

- 《応募方法》 町内在住の方で、1人1通に限ります。答え・住所・氏名・年齢・電話番号・議会だよりの感想をご記入のうえ、下記あて先のいずれかの方法で応募してください。
- 《しめきり》 2月28日(火) (郵送の場合は当日消印有効)
- 《あて先》 ●はがきの場合 〒243-0392 角田251-1 議会事務局
●ファクスの場合 046-286-5021
●電子メールの場合 gikai@town.aikawa.kanagawa.jp ☆正解と当選者は次号で発表します。

編集後記

町議会では、町の最上位計画である第5次愛川町総合計画の基本構想の一部改定及び後期基本計画の策定について、昨年6月に議会検討会を設置して議論を重ね、12月定例会の特別委員会で審議を行い、本会議で可決しました。

今年の干支「酉」は、「果肉が極限まで熟した状態」に由来しているそうです。

議会としても、町行政と一体となり、新たにスタートする総合計画とともに、愛川町が成熟した町として発展するよう、一層力を尽くしてまいります。

議会だより編集委員会

- 委員長 馬場 司
副委員長 熊坂 崇徳
委員 阿部 隆之
委員 岸上 敦子
委員 鈴木 信一
委員 山中 正樹